

地域産業の振興対策の拡充

【担当省庁】経済産業省

奈良県における取組



令和6年度の皮革産業振興対策事業費補助金約456万円について、宇陀市菟田野毛皮革産業振興協議会に対し採択いただき、奈良県の皮革関連産業の振興を図ることができ感謝。

これまでの主な取組

本県の地場産業のひとつである皮革関連産業は、小規模事業者が大半を占め、経営基盤は脆弱であり、国際競争力も乏しい。貿易自由化の進展の中で、産地の競争力強化の取組に対して、次のような支援を実施。

《令和5年度》

①新商品開発支援（製品や梱包箱のデザイン、広告デザイン等に対する支援）

【履物】

女性向けサンダルの新製品デザイン開発、雪駄の梱包箱外装デザイン開発等



【スポーツ】

野球用グローブのDMチラシのデザイン作成



②販路開拓支援（県内外での見本市や展示即売会の開催に対する支援）



履物見本市開催事業や毛皮革ファッションフェア開催事業等に加え、新型コロナのため中止していた各種展示会についても4年ぶりに再開



「奈良はきもの杯」賞品

③普及啓発（県営競輪場における県産品PR）

- ・「奈良はきもの杯」にて履物を選手賞品とする
- ・とともに、来場者に履物を無償配布
- ・競輪ファン向けのサービスとしてセーム皮をプレゼント

現状

本県皮革関連産業の近年の経営環境は、個人消費の長期低迷や需要の変化、安価な海外製品の流入、経営者や職人の高齢化などにより、厳しい経営を強いられている。

加えて昨今の原材料費やエネルギー価格の高止まり、人件費の上昇などにより、更に厳しい状況にある。

業界ではSNSの活用やオリジナルブランドの展開、大型展示会への出展、若手職人の人材育成に取り組んでおり、新型コロナにより中止していたイベントの再開といった明るい兆しもあるが、依然として厳しい状況にあり、県も支援を続けている。

皮革関連企業の経営基盤の強化と産地の活性化を図るため、そして、速やかな業績回復につながるよう、より一層の支援が必要である。

奈良県における皮革関連産業の状況

業種		令和元年	令和2年	令和3年	対R元
スポーツ用品	事業所数	8	7	7	▲12.5%
	従業者数	99	70	66	▲33.3%
	出荷額(百万円)	2,630	1,808	524	▲80.1%
毛皮革・セーム皮	事業所数	9	8	8	▲11.1%
	従業者数	152	136	107	▲29.6%
	出荷額(百万円)	1,286	949	326	▲74.7%
サンダル及び軽装履	事業所数	11	4	4	▲63.6%
	従業者数	165	86	80	▲51.5%
	出荷額(百万円)	685	357	405	▲40.9%

(令和5年度全国皮革行政連絡会担当者会議の奈良県資料より抜粋)

国にお願いすること

- ① 貿易自由化の流れの中で国際競争力を維持し、地域ブランド力を強化できるように、**新商品開発、販路拡大などにかかる財政支援（皮革産業振興対策事業費補助金等）の継続・拡充**をお願いしたい。
- ② 一般消費者に対する産地や皮革関連製品のPRなど、**事業継続に向けた振興策の一層の充実**をお願いしたい。

【県担当部局】産業部経営支援課